

「事業名：インターンシップ型農業・農村総合活性化戦略プロジェクト」

東京農業大学 連携市町村：浪江町、双葉町

現地拠点：双葉郡浪江町 福島舞台ファーム株式会社(2階事務室)

事業のポイント

■2018年度から20年度にかけて、福島県浪江町の農業“新興”に向けた取り組みとして、就農拡大・スマート農業・6次産業化に向けた現地活動の実績から地域企業への就職者2名を輩出した。しかし、浪江町への町民の帰還意向は低く地域経済を再生させるには、更なる移住・定住などの人材定着が課題である。そこで2021年度から本事業では、インターンシップ型の教育研究プログラムを実施し、地域企業等との連携による戦略的プロジェクトを展開し、農村地域活性化に取り組む。また、隣接する双葉町の営農再開に向けた基礎調査を実施する。

人材育成目標

■福島県浪江町および沿岸地域への新規就農および地域企業等への就職実績として、5年間で9名の人材定着を目指す。また、浪江町の復興支援活動に参加し、将来的な交流人口・関係人口として期待できる大学生等を「復興支援サポーター」として年間20名を育成する。

2023年度の活動内容

■本学の3キャンパス(世田谷・厚木・オホーツク)を基盤にして、浪江町、(株)舞台ファーム、地域企業と連携したプログラムとして、「復興浪江学」、「一般農業実習プログラム」、「特別実習プロジェクト」、「特別インターン」、「新規就農実践講座」を実施するほか、学生プロジェクトや活動成果報告会を実施し、「復興支援サポーター」を育成する。とくに「浪江復興米」の栽培や里山景観づくり、ニンニク等の新規作物、花卉農家の支援、イチジクを使った新商品開発にも取り組む。「特別インターン」の充実により人材の輩出を目指す。



浪江復興米の収穫作業(2022年10月2日)

取り組みによって得られる成果

■本事業の取り組みによって、浪江町への交流人口・関係人口の増加、新規就農や地域企業等への人材定着、新商品開発が期待される。沿岸地域の自治体等との連携による課題解決により地域全体の活性化に繋げる。